

目次

はしがき

第1編 犯罪の動向

第1章 刑法犯	2
第1節 主な統計データ	2
1 認知件数と発生率	3
2 検挙人員	5
3 検挙率	6
第2節 主な刑法犯	7
1 窃盗	8
2 強制性交等・強制わいせつ	9
3 その他の刑法犯	11
第2章 特別法犯	17
第1節 主な統計データ	17
第2節 主な特別法犯	19
第3章 諸外国における犯罪動向	21
第1節 諸外国における犯罪	21
1 殺人	22
2 強盗	23
3 窃盗	24
4 性暴力	25
第2節 国外における日本人の犯罪	26

第2編 犯罪者の処遇

第1章 概要	28
1 新規立法の動向	29
2 法テラスの活動	29
第2章 検察	30
第1節 概説	30
第2節 被疑事件の受理	30
第3節 被疑者の逮捕と勾留	31
第4節 被疑事件の処理	32

第3章 裁判	35
第1節 概説	35
第2節 確定裁判	36
第3節 第一審	36
1 終局裁判	36
2 科刑状況	38
3 裁判員裁判	40
4 即決裁判手続	43
5 公判前整理手続	43
6 勾留と保釈	43
第4節 上訴審	45
第4章 成人矯正	47
第1節 概説	47
1 刑事施設等	47
2 刑事施設における処遇	47
第2節 刑事施設の収容状況	48
1 刑事施設の収容人員	48
2 刑事施設の収容率	48
3 入所受刑者	49
4 出所受刑者	51
第3節 受刑者の処遇等	53
1 処遇の概要	53
2 作業	55
3 矯正指導	56
4 就労支援	58
5 福祉的支援	58
6 受刑者の釈放等に関する情報の提供	59
第4節 刑事施設の運営等	59
1 刑事施設視察委員会	59
2 給養・医療・衛生等	59
3 民間協力	60
4 規律・秩序の維持	60
5 不服申立制度	61
第5節 未決拘禁者等の処遇	61
第6節 官民協働による刑事施設等の整備・運営	62
第5章 更生保護	63
第1節 概説	63
1 更生保護における処遇	63
2 更生保護の機関	63
第2節 仮釈放等と生活環境の調整	63
1 仮釈放等	63
2 生活環境の調整	66

第3節	保護観察	67
1	保護観察対象者の人員等	68
2	保護観察対象者に対する処遇	71
3	保護観察対象者に対する措置等	76
4	保護観察の終了	77
第4節	応急の救護・更生緊急保護の措置等	77
第5節	恩赦	79
第6節	保護司，更生保護施設，民間協力者等と犯罪予防活動	79
1	保護司	79
2	更生保護施設	81
3	自立準備ホーム	83
4	民間協力者及び団体	84
5	更生保護協会等	85
6	犯罪予防活動	86
第6章	刑事司法における国際協力	87
第1節	刑事司法における国際的な取組の動向	87
1	国際組織犯罪対策及びテロ対策	87
2	マネー・ローンダリング対策	88
3	汚職・腐敗対策	88
4	サイバー犯罪対策	89
5	国際刑事裁判所	89
第2節	犯罪者の国外逃亡・逃亡犯罪人の引渡し	89
1	犯罪者の国外逃亡	89
2	逃亡犯罪人の引渡し	90
第3節	捜査・司法に関する国際協力	90
1	捜査共助	90
2	司法共助	91
3	刑事警察に関する国際協力	91
第4節	矯正・更生保護分野における国際協力	92
1	国際受刑者移送	92
2	矯正・更生保護に関する国際会議	92
第5節	刑事司法分野における国際研修・法制度整備支援等	93
1	国連アジア極東犯罪防止研修所における協力	93
2	法制度整備支援	94
3	矯正建築分野における協力	94

第3編 少年非行の動向と非行少年の処遇

第1章	少年非行の動向	96
第1節	少年による刑法犯	96
1	検挙人員	96

2	属性による動向	97
3	罪名別動向	100
4	共犯事件	101
第2節	少年による特別法犯	102
1	検挙人員	102
2	交通犯罪	103
第3節	ぐ犯少年	104
第4節	不良行為少年	105
第5節	家庭と学校における非行	106
1	家庭内暴力	106
2	校内暴力	106
3	いじめ	107
第2章	非行少年の処遇	108
第1節	概要	108
1	家庭裁判所送致までの手続の流れ	109
2	家庭裁判所における手続の流れ	109
3	保護処分に係る手続の流れ	110
第2節	検察・裁判	111
1	検察（家庭裁判所送致まで）	111
2	家庭裁判所	112
第3節	少年鑑別所	115
1	概説	115
2	入所・退所の状況	115
3	鑑別	118
4	観護処遇	119
5	非行及び犯罪の防止に関する援助	120
第4節	少年院	121
1	概説	121
2	少年院入院者	121
3	少年院における処遇	126
4	出院者	131
5	少年院の運営等	132
第5節	保護観察	133
1	概説	133
2	少年の保護観察対象者	133
3	少年の保護観察対象者に対する処遇	136
4	少年の保護観察対象者に対する措置	137
5	少年の保護観察の終了	138
第3章	少年の刑事手続	139
第1節	概要	139
1	起訴と刑事裁判	139
2	刑の執行	139

3	仮釈放	139
第2節	起訴と刑事裁判	140
1	検察庁での処理状況	140
2	通常第一審の科刑状況	141
第3節	少年の受刑者	142

第4編 各種犯罪の動向と各種犯罪者の処遇

第1章	交通犯罪	144
第1節	交通犯罪関係法令の改正状況	144
1	自動車運転死傷処罰法	144
2	道路交通法	144
第2節	犯罪の動向	145
1	交通事故の発生動向	145
2	過失運転致死傷等・危険運転致死傷	146
3	ひき逃げ事件	148
4	道交違反	149
第3節	処遇	150
1	検察	150
2	裁判	152
3	矯正	154
4	保護観察	154
第2章	組織的犯罪・暴力団犯罪	155
第1節	組織的犯罪	155
第2節	暴力団犯罪	156
1	組織の動向	156
2	犯罪の動向	157
3	処遇	161
第3章	財政経済犯罪	164
第1節	税法違反	164
第2節	経済犯罪	166
第3節	知的財産関連犯罪	169
第4章	サイバー犯罪	170
第1節	不正アクセス行為等	170
第2節	その他のサイバー犯罪	171
第5章	児童虐待・配偶者間暴力・ストーカー等に係る犯罪	172
第1節	児童虐待に係る犯罪	172
第2節	配偶者間暴力に係る犯罪	173

第3節	ストーカー犯罪等	176
1	ストーカー犯罪	176
2	私事性的画像被害に係る犯罪（リベンジポルノ等）	178
第6章	女性犯罪・非行	179
第1節	犯罪・非行の動向	179
第2節	処遇	181
1	検察	181
2	矯正	182
3	保護観察	186
第7章	高齢者犯罪	187
第1節	犯罪の動向	187
第2節	処遇	190
1	検察	190
2	矯正	191
3	保護観察	192
第8章	外国人犯罪・非行	194
第1節	外国人の在留状況等	194
1	外国人新規入国者等	194
2	不法残留者	194
3	退去強制	194
第2節	犯罪の動向	195
1	刑法犯	195
2	特別法犯	197
第3節	処遇	198
1	検察	198
2	裁判	201
3	矯正	201
4	保護観察	202
第4節	外国人非行少年の動向と処遇	202
1	外国人犯罪少年の動向	202
2	外国人非行少年の処遇	203
第9章	精神障害のある者による犯罪等	204
第1節	犯罪の動向	204
第2節	刑事手続の状況	204
1	検察・裁判	204
2	矯正	204
3	保護観察	205
第3節	心神喪失者等医療観察制度	205
1	審判	206
2	指定入院医療機関による医療	207

3 地域社会における処遇	207
--------------	-----

第10章 公務員犯罪	208
------------	-----

第5編 再犯・再非行

第1章 再犯防止対策の概観	210
第1節 再犯防止対策の推移	210
第2節 再犯防止推進法に基づく再犯防止対策	210
1 再犯防止推進法	210
2 再犯防止推進計画	211
第3節 再犯防止対策の取組状況	212
第2章 再犯・再非行の概況	213
第1節 検挙	213
1 刑法犯により検挙された再犯者	213
2 刑法犯により検挙された成人の有前科者	214
第2節 検察・裁判	216
1 起訴人員中の有前科者	216
2 全部及び一部執行猶予の取消し	218
第3節 矯正	219
1 再入者	219
2 出所受刑者の再入所状況	222
3 出所受刑者の再入率の推移	225
4 再入者の再犯期間	227
第4節 保護観察	227
1 保護観察開始人員中の有前科者	227
2 保護観察対象者の再処分等の状況	229
第5節 少年の再非行・再犯	233
1 少年の再非行	233
2 保護観察処分少年及び少年院入院者の保護処分歴	234
3 少年院出院者の再入院等の状況	235
4 少年の保護観察対象者の再処分の状況	237

第6編 犯罪被害者

第1章 統計上の犯罪被害	240
第1節 被害件数	240
第2節 生命・身体への被害	242
第3節 性犯罪被害	243

第4節	財産への被害	244
第5節	被害者と被疑者の関係	245
第6節	国外における日本人の犯罪被害	246
第2章	刑事司法における被害者への配慮	247
第1節	刑事手続における被害者の関与	247
1	被害申告及び告訴	247
2	起訴・不起訴等に関する被害者等への通知	247
3	不起訴処分に対する不服申立制度	248
4	公判段階における被害者等の関与	250
5	矯正・更生保護段階等における被害者等の関与	252
6	少年事件における被害者等への配慮	253
7	法テラスによる被害者等に対する支援	253
8	地方公共団体における被害者支援に向けた取組	255
第2節	犯罪被害者等に対する給付金の支給制度等	255
1	犯罪被害給付制度	255
2	国外犯罪被害弔慰金等の支給制度	255
3	被害回復給付金支給制度	255
4	被害回復分配金支払制度	255
5	自動車損害賠償保障制度	256
6	地方公共団体による見舞金制度等	256
第3節	人身取引被害者保護	256

第7編 特集－薬物犯罪

第1章	はじめに	258
第2章	薬物の概要	260
第1節	精神刺激薬	260
1	覚醒剤	260
2	その他	261
第2節	中枢神経抑制薬	261
1	オピオイド	261
2	鎮静薬、睡眠薬及び抗不安薬	262
第3節	幻覚薬	262
1	LSD等	262
2	解離性麻酔薬	262
第4節	大麻	263
第5節	危険ドラッグ	263
第6節	有機溶剤	263

第3章 薬物関係法令の変遷	264
第1節 大麻取締法	264
第2節 覚醒剤取締法	264
第3節 麻薬取締法	265
第4節 あへん法	266
第5節 毒劇法	266
第6節 医薬品医療機器等法	267
第7節 麻薬特例法	267
第8節 その他	267
1 犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	267
2 合意制度	268
3 薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予制度	269
第4章 薬物犯罪・非行の動向等	270
第1節 薬物犯罪の動向等	270
1 検挙・取締り	270
2 検察	286
3 裁判	290
4 矯正	296
5 更生保護	302
第2節 薬物非行の動向等	308
1 検挙	308
2 検察・裁判	311
3 少年鑑別所	312
4 少年院	316
5 保護観察	321
第3節 再犯・再非行	326
1 検挙	326
2 検察・裁判	328
3 矯正	330
4 保護観察	336
5 少年の再非行・再犯	341
第5章 薬物事犯者の処遇等	345
第1節 検察	345
コラム1 福岡県と福岡地方検察庁との連携による薬物事犯者に対する 社会復帰支援の取組	346
第2節 矯正	348
1 刑事施設	348
コラム2 刑事施設内における薬物犯罪の受刑者に対する近年の処遇	349
2 少年院	351
3 保護観察所等との連携	352
4 指導担当職員の育成	352
第3節 更生保護	353

1	矯正施設入所中の生活環境の調整等	353
2	保護観察等	355
	コラム3 保護観察終了後の薬物依存からの回復を見据えた 薬物再乱用防止プログラムの実施	361
第4節	社会内における治療・支援	366
1	依存症対策全国拠点機関	367
2	地方公共団体	367
3	医療機関	367
4	相談機関	368
	コラム4 精神保健福祉センターにおける薬物依存症者の支援	369
5	回復支援施設	371
6	自助グループ	371
7	家族会等	371
第6章	特別調査	372
第1節	調査の概要	372
1	調査対象者及び方法	372
2	調査内容	372
第2節	調査結果	374
1	調査対象者全体の特徴	374
2	男女別の特徴	380
3	初入者・再入者別の特徴	399
第7章	国際的な薬物犯罪対策等	419
第1節	国際的な薬物の使用、生産及び不正取引の状況	419
1	概説	419
2	国際的な薬物使用の状況	421
3	国際的な薬物の生産及び不正取引の状況	421
	コラム5 諸外国の被収容者の薬物使用の状況	423
第2節	国際的な薬物統制	424
1	薬物統制に関する国際条約	424
2	国際的な協力体制	424
	コラム6 米国のドラッグコート及び治療共同体	426
第8章	おわりに	428
第1節	薬物犯罪・非行の動向等	428
1	検挙状況等	428
2	処理状況等	428
3	薬物非行	429
4	再犯・再非行	429
第2節	薬物犯罪対策や薬物事犯者処遇の経緯と現状	429
1	薬物犯罪への立法的対応	429
2	再犯防止に向けた取組の進展	429
第3節	特別調査から判明した薬物事犯者の特徴	430

1	調査対象者全体の特徴	430
2	男女別の特徴	430
3	初入者・再入者別の特徴	431
第4節	薬物犯罪対策や薬物事犯者処遇の在り方	431
1	薬物犯罪の取締りを通じた薬物供給量の減少の必要性	432
2	薬物の害悪や薬物乱用の弊害，相談・支援窓口に関する情報提供の必要性	432
3	薬物事犯者処遇の一層の充実の必要性	433
4	刑事処分の早い段階での対応の必要性	434
5	まとめ	435
	事項索引	437

資料編目次(※CD-ROM収録)

- 資料1-1 刑法犯 認知件数・発生率・検挙件数・検挙率・検挙人員
- 資料1-2 刑法犯 認知件数・検挙件数・検挙人員(罪名別)
- 資料1-3 刑法犯 検挙率(罪名別)
- 資料1-4 特別法犯 検察庁新規受理人員(罪名別)
- 資料2-1 検察庁新規受理人員(罪名別)
- 資料2-2 検察庁終局処理人員
- 資料2-3 検察庁終局処理人員(罪名別)
- 資料2-4 地方裁判所における死刑・懲役・禁錮の科刑状況(罪名別)
- 資料2-5 刑事施設の一日平均収容人員
- 資料2-6 年末在所懲役受刑者人員(刑期別)
- 資料2-7 仮釈放・少年院仮退院審理事件 審理開始・許可等人員
- 資料2-8 保護観察開始人員・全部又は一部執行猶予者の保護観察率
- 資料2-9 保護観察開始人員(罪名別, 男女別)
- 資料3-1 少年・成人の刑法犯・危険運転致死傷・過失運転致死傷等 検挙人員・人口比・少年比
- 資料3-2 少年による刑法犯 検挙人員・人口比(年齢層別)
- 資料3-3 少年による刑法犯 検挙人員(罪名別)
- 資料3-4 触法少年による刑法犯 補導人員(非行名別)
- 資料3-5 少年による刑法犯 罪名別検挙人員(男女別, 年齢層別)
- 資料3-6 少年による特別法犯 検挙人員(罪名別)
- 資料3-7 家庭裁判所終局処理人員(ぐ犯の態様別)
- 資料3-8 犯罪少年の検察庁新規受理人員・人口比(年齢層別)
- 資料3-9 犯罪少年の検察官処遇意見・家庭裁判所終局処理結果の各構成比(年齢層別)
- 資料3-10 少年保護事件 家庭裁判所終局処理人員(処理区分別, 非行名別)
- 資料3-11 少年鑑別所入所者の人員・一日平均在所人員(男女別)
- 資料3-12 少年の保護観察開始人員の非行名別構成比(男女別)
- 資料3-13 少年入所受刑者の人員(男女別, 年齢層別, 刑期別)
- 資料4-1 交通事故 発生件数・死傷者数・死傷率等の推移
- 資料4-2 財政経済犯罪 起訴・不起訴人員
- 資料4-3 財政経済犯罪 通常第一審における懲役刑科刑状況
- 資料4-4 サイバー犯罪 検察庁終局処理人員
- 資料4-5 外国人の検察庁終局処理人員
- 資料4-6 来日外国人被疑事件 検察庁終局処理人員(罪名別)
- 資料4-7 被告人通訳事件 通常第一審における有罪人員・科刑状況(懲役・禁錮)の推移
- 資料4-8 F指標入所受刑者人員(国籍別)
- 資料4-9 外国人の保護観察開始人員(国籍別)
- 資料5-1 再入者人員(罪名別, 男女別)
- 資料5-2 入所受刑者の入所度数別人員(罪名別)
- 資料5-3 再入者の再犯期間別人員(前刑罪名別)
- 資料7-1 覚醒剤取締法違反等 検察庁終局処理人員
- 資料7-2 覚醒剤取締法違反 通常第一審における有罪(懲役)人員(刑期別)